

Web3.0研究会DAOの立ち上げ

基本設計

設立趣旨：構成員がDAOのユーザー体験を通じて課題や可能性を認識し、研究会の議論をより深度あるものとする

法的位置付け：構成員および事務局の自発的意思に基づき設立される任意団体

DAOとしての機能：トークンの配布、投票など
(トークンの設計、投票方法などは構成員が決定)

当庁の役割：DAOの作成、運営、ガス代の取りまとめ等

構成員の役割：ウォレットの開設、DAOへの参画・運営、議論への参加、ガス代の分担など

参加メンバー

- Web3.0研究会の構成員および事務局（デジタル庁）。また、構成員が参加を許可したメンバーについても対象範囲とする

Web3.0研究会DAO立ち上げの意義

アウトプットの例

- **行政がDAOに関わる際のロールモデル：**
今回のDAO自体が今後のロールモデルとなり、設立テンプレート等を公開
 - **DAOの理解：**
DAOで可能になること、DAOでは解決できない課題などについての検討
 - **ユースケースの公開：**
トークンの扱いについての法的位置づけなど、具体的なユースケースを元にした提言
- ※プロジェクトのスコープは一旦は研究会終了時までとするが、有識者によるDAOを残すかどうかは、プロジェクトの状況に応じて並行して検討する（研究会メンバーで決定）

検討いただきたい点

- 構成員がDAO立ち上げ・運用のために必要なトークンを均等に負担することでよいか。※具体的な手段については要検討
- Web3.0 研究会の構成メンバー、事務局（デジタル庁）、及び関係者が初期コアメンバーになるが、研究会構成員が参加を許可したメンバーにも徐々に対象範囲を広げていく方法でよいか
- まずは最低限のガバナンストークンのみを発行、議論しながらより派生させていく形でよいか
- Web3.0 コミュニティで一般的に利用されている Discord を利用してよいか